

2022
vol.29

ソフィールNEWS
TOPICS

ソフィール協会のオンライン研修会を開催しました

冬

2021年11月19日(金)にソフィール協会のオンライン研修会を開催いたしました。

例年5月に総会と研修会、11月頃に研修会を開催していますが、今回もコロナ禍ということでオンラインでの開催となりました。

オンラインウェビナーといえばパソコンの前でただ話を聞いている印象で前回は協会からの発信が主でしたが、今回はオンラインを生かし、会員様の自己紹介などを織り交ぜ、参加型の研修会を目指しました。

今回のオンライン研修会でもZOOMを利用し、会員13社、特別賛助会員1社、オブザーバー1社、計21名の皆様にご出席頂きました。今期もソフィールや関連商品の拡販に努めてまいりますので、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



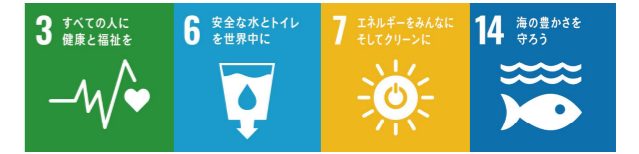
ソフィール NEWS

2022.1 vol.29 新春号

全国227カ所に導入
環境型トイレ浄化槽

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



特集 最新の納入事例

愛知県新城市
新城総合公園

TOPICS

ソフィール協会のオンライン研修会を開催しました

冬

ソフィール協会 ×

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsの目標達成のために
わたしたちができること



アルコ(株)ホームページにも掲載しています

最新の施工事例を随時更新しています!

用途別での納入事例もご紹介していますので、是非ご覧ください。

ソフィール 実績 検索

<https://www.alcoinc.co.jp/mizu/sofil/>



ソフィール協会

三重県津市藤方2254番地1(アルコ(株)内)

TEL 059-213-8811 FAX 059-213-8880

URL <http://sofil-kai.net/>

MAIL info@alcoinc.co.jp



謹賀新年

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。旧年中は新型コロナウイルスの影響の中、皆様より沢山のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

富士山御殿場口新五合目公衆トイレや六甲最高峰公衆トイレにおいて、設置した「ソフィール」で浄化処理した処理水を便器洗浄水として再利用しています。多くのトイレ利用者からきれいなトイレとして高く評価していただきました。SDGsの持続可能な開発目標の6「安全な水とトイレを世界中に」の実現に、高い性能と品質、顧客満足に向けた活動を継続して推進していきます。

今年は「壬虎（みずのえとら）」の年で、厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となる年と言われています。新型コロナウイルスが一日でも早く収束することを願い、ソフィール協会の皆様とともに新しい技術や新しい商品の拡販に挑戦し、みなさんが繁栄されるように活動していきたいと思っております。本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお祈り申し上げます。みなさまのご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

ソフィール協会 会長 中山 和己

新城総合公園

愛知県新城市

発注者：愛知県
新城設楽建設事務所

2021年12月に「西第一駐車場トイレ」を改修し、12月より供用を開始しました。同公園では、2016年度からトイレ改修事業が開始され、既設単独処理浄化槽を順次ソフィールに入れ替えて頂き、順調に稼働しております。今回が6基目の設置となりました。同公園は、奥三河地区の拠点施設として、イベント開催などの観光面だけでなく、救援部隊活動拠点として地域防災の一翼を担う施設でもあります。



NEW

西第一駐車場

施工年月：2021年12月
人 槽：59人槽
汚水量：3.6m³/日
仕 様：処理水放流



土壤浸潤槽 (施工後)

「新城総合公園」は、1985年4月開園の県営都市公園です。64.3ha(ナゴヤドーム約9個分)の広大な敷地に野球場、陸上競技場などのスポーツ施設ゾーン・家族子供向けのファミリーゾーン・高齢者向けのニュースポーツゾーンが整備されている多彩な公園です。毎年開催される「新城ラリー」のメイン会場でもあります。

芝生広場北西



BEFORE 改修前



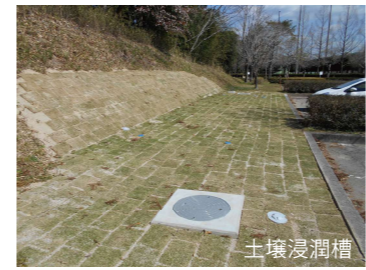
土壤浸潤槽 (施工中)

芝生広場東



土壤浸潤槽 (施工後)

西第二駐車場



土壤浸潤槽

中央広場北



土壤浸潤槽

1次処理槽

中央広場南



土壤浸潤槽

AFTER 改修後



土壤浸潤槽

SYSTEM

“ソフィール”とは？

ソフィールは環境に優しい汚水処理システム『土壤微生物膜高度処理浄化槽』です。わずかな消費電力で高度な汚水処理ができ、維持管理が容易でランニングコストが安く、利用者の変動が大きい施設でも安定した処理を行えます。

処理水を循環利用することにより防災対応型トイレとしても利用可能で、放流先の無い場所や環境に配慮したい場所にも最適な浄化槽です。

環境省 平成28年度環境技術実証事業(ETV事業) 自然地域トイレし尿処理技術分野の実証試験を実施しました



移動可能な循環水洗型トイレ“ミニソフィ”とは？

ミニソフィは汚水処理システムと多目的トイレを一体化した移動可能な循環型トイレです。20フィートのコンテナ内に循環型汚水処理システム(ソフィール)をコンパクトに収納することで「ゆったり」「広々とした」トイレ空間を創出しました。車いす利用者、高齢者、小さなお子様連れの方などに安心してお使い頂ける多目的トイレです。



詳しくは動画をご覧ください ※音が出ますのでご注意ください



雨水貯水・活用システム“アメリオ”とは？

アメリオはタンク内に雨水を貯水し、微生物で水質を浄化・維持するシステムです。整雨レベルⅣ(洗面・シャワー・風呂利用できるレベル※国土交通省雨水の利用推進に関するガイドライン)を目標水質とし、綺麗な雨水はトイレ洗浄水や植物の散水、洗車水、クーリングタワー補給水、災害用非常用水など、さまざまな用途で有効活用できます！



【浄化技術】立命館大学 久保教授発明の特許技術(アルコ)が実施許諾契約済

詳しくは動画をご覧ください ※音が出ますのでご注意ください

